

私のお気に入り ハンドメイドスペース「くらりす」 **Moriyaナビ**
世界に一つだけの作品に出会いに行ってみませんか?

オーナーの小金井さんはご自身ガラス工芸の作家でありながら、様々な作品の作家たちが教室を開いたり、訪れる方々との作品の出会いの場、作家同士の交流の場として、「くらりす」を9月12日オープンしました。

現在30名ほどの作家の方々が丹精込めた作品、絵画や書、小物、洋服、アクセサリーなどを展示、販売しています。小金井さんはご自身のガラス工芸だけでなく、他の作家の方々の作品への想いを訪れた方に丁寧に説明してくれます。此処を作家とお客様の気持ちを伝え合う橋渡しの場にしたいと熱く語っています。

展示されている作品は小金井さんのお人柄もあり、温かみのあるほっこりできる作品たちなので、観ているだけで癒される気持になれます。

萩山駅の近くの方もそうでない方もアクセスが楽なので是非、アートな秋を体感してみてください。



ハンドメイドスペース
「くらりす」
13:00~19:00 定休日:日曜日
東京都東村山市萩山町2-1-39
西武新宿線萩山駅北口徒歩1分
042-396-2588
clarus@emobile.ne.jp

掲示板

「地域感謝デー」のお知らせ

包丁研ぎ／まな板削り／端材／焼きそば

地域の皆様への感謝の気持ちを込めて、今年も地域感謝デーを開催します。

是非、お出かけください。社員、スタッフ一同お待ちしております。



Moriya
ひと紹介



原田繁男さん(原田塗装店)

塗装のことならまかせてください!
豪快ですが…愛妻家です

塗装の知識も技術もおまかせください。住宅の内・外の塗装の選択から修繕の方法など、原田さんに聞けば間違いないと信頼されています。

織細で細かい仕事ぶり、気配りが随所に光ります。10代で家業を継ぎ、身を粉にして仕事をしていました。徹夜明けの現場で刷毛を持ったまま寝ていたこともあったとか。そんな苦労が生きて、今では若い職人さんから「兄貴」と慕われ、人が集まつくる魅力の持ち主です。

お祭り好きで情に厚い男気のある人。一見、強面で豪快そうに見えますが、「かなりシャイ」です。お客様には地域感謝デーで奥さまと一緒に焼きそばを作っている姿がお馴染みですね。自他ともに認める愛妻家! 焼きそばも下準備から丁寧な仕事で美味しいと好評です。

Moriya通信 - 住まいの玉手箱 - (No.39) 2012.10

発行:(株)守屋工務店 Moriya通信編集部
〒184-0015 小金井市貫井北町5-21-2
TEL 042-322-5438 FAX 042-325-1011
E-mail moriya-koumuten@bd.wakwak.com

Moriya No.39 2012.10 通信

— 住まいの玉手箱 —

立川市A邸



植木の緑で囲まれた気持ちのいいお住まいです

p4-5 夢を叶える
私たちの家

p2 住まいの玉手箱

p3 道具の話「墨壺 すみつぼ」

p6-7 みんなのコラム
-私の健康法-
ホーミー教室

p8 守屋ナビ ハンドメイドスペース「くらりす」
掲示板 Moriya 人・紹介

(株)守屋工務店 〒184-0015 小金井市貫井北町5-21-2 TEL042-322-5438
<http://www.moriyakoumuten.com>

住まいの 玉手箱



「天然塗料の話」 えごま油

「荏胡麻油」をご存知ですか？ 食用の荏胡麻油はスーパーで販売されていて、ドレッシングやマリネ等の加熱処理をしない調理法に適しています。α（アルファ）・リノレン酸が多く含まれ、動脈硬化の予防や中性脂肪の低減が期待できる、体に良い油です。「荏胡麻」は古くから灯篭や提灯の燃料、または番傘等に塗られていました。建築では、家具や床材等の無垢材に塗り込む事で、その木材、本来の木目を引き立たせる自然な艶が出て、しっとりとした艶色に変化します。荏胡麻油に米ヌカ油や桐油を混ぜ合わせた比較的乾きの早い木部専用の製品もあります。木部に擦り込むように浸透させ、布で拭き上げるだけで、部分的な再塗装でも馴染むので、扱いやすくオススメです。

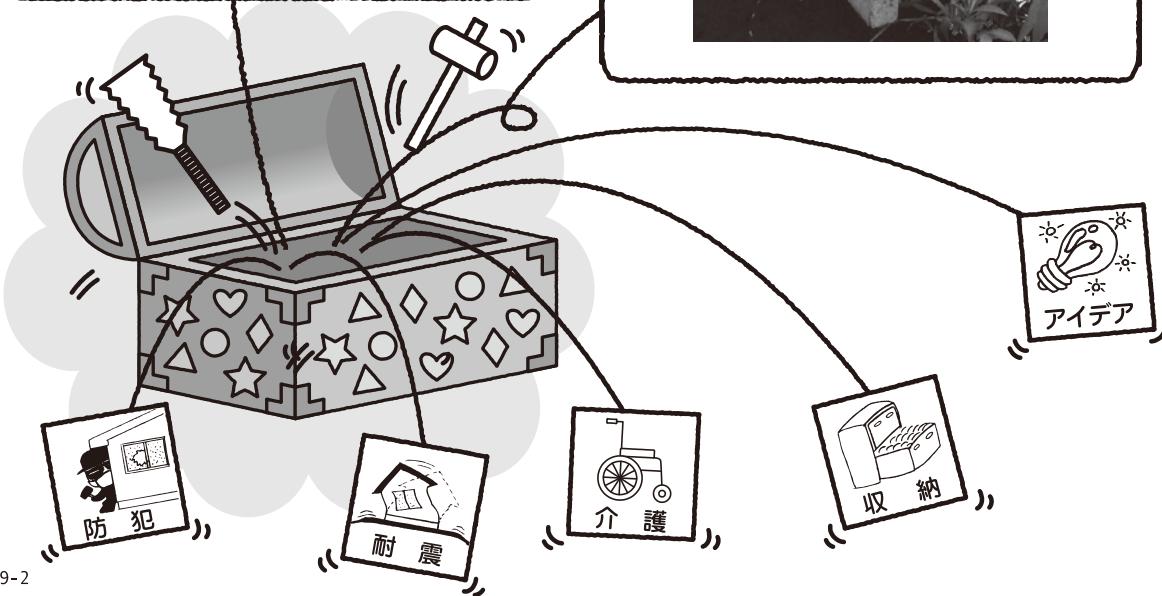
木の温もりを感じながら、安心安全に暮らしたい方にピッタリな自然塗料です。



井戸が眼って いませんか？

国分寺市本多のA邸、昔盛んに使っていた井戸は、吸上げポンプが壊れて20年近く、ほったらかしのままでした。昨年の震災で、水の有難さが分かり、井戸を復活させる事に。地上からの水位・水量の調査でまだ使えることが分かり、井戸内部の掃除、水中の異物のさらいを経て手押しポンプの取付が完了。

電気も何も使わずにポンプから水がコンコンと流れ出ました。飲用にするには保健所の水質検査が必要ですが、お庭の水やりや災害時には活躍してくれることでしょう。



道具の話

墨壺

其の五

住まいづくりに関連する「道具」についてご紹介します。

「道具は命」という言葉がありますが、職人は仕事によって様々な道具を使います。

「道具の手入れも仕事のうち」などとも言い、昔からいろいろな道具が大切にされてきました。時代と共に消えていった道具や、姿、形が変わっていった道具もあります。

さあ、今回は「墨壺」をご紹介します。



墨壺 墨は、木材等に長く正確な直線や、ゆるい曲線を引く為の道具で、竹製の墨刺を用いて文字や短い線を引く為に必要な墨を蓄えておくものである。糸の先についたカルコの針を材木に刺し、必要な長さまで繰り出した所で糸を張り、軽く弾く事で墨線が材に引かれる。

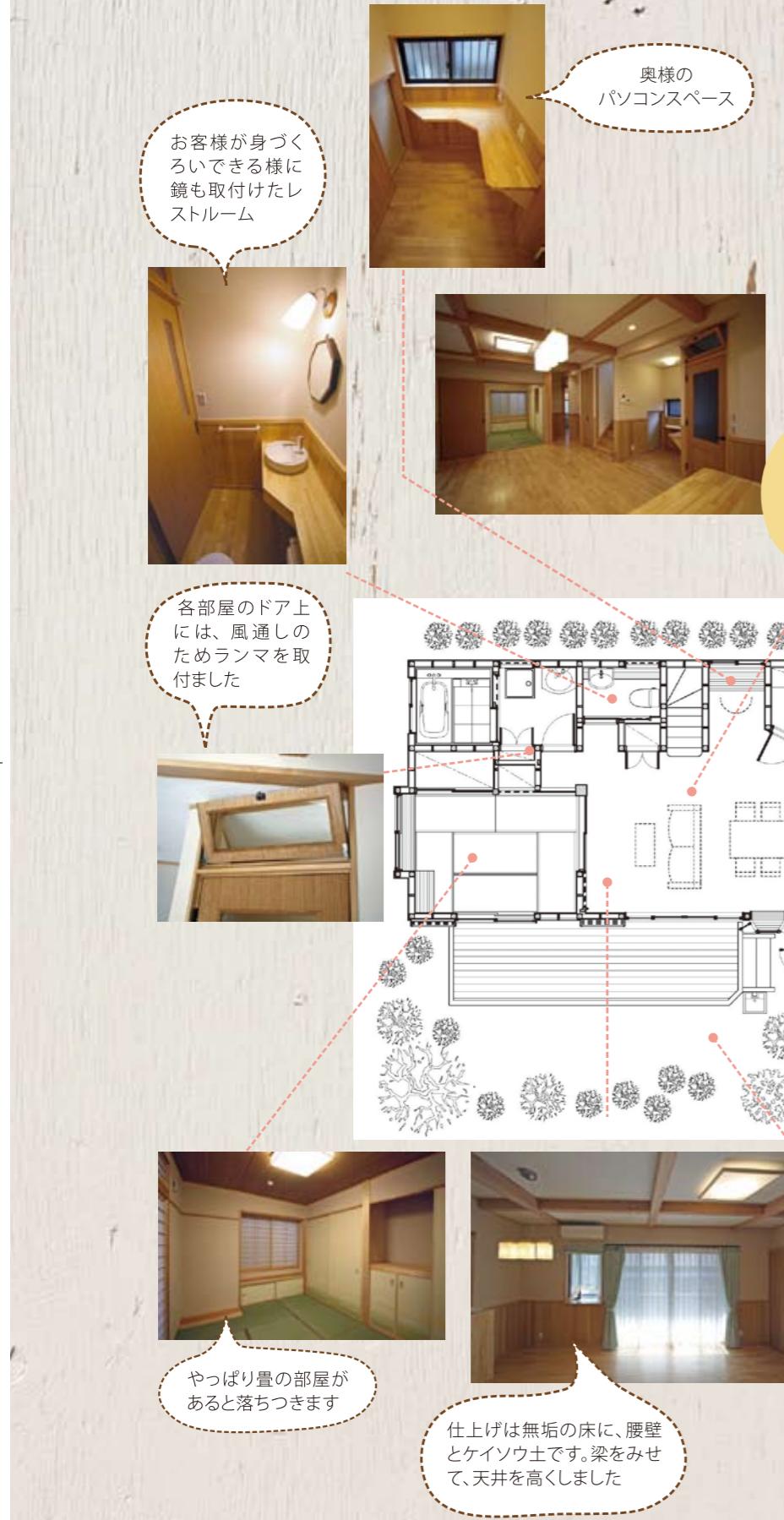
墨壺は、神社仏閣等の建築着工の儀式にも欠かせない道具でもある。寛永十一年(1634)から工事が始められた日光東照宮の創始(起工式)の儀式に使われた墨壺は、大工道具で唯一国宝に指定されている。金メッキした銅板製で葵紋がほどこされている非実用の儀器である。



丸太等の化粧材の芯墨打ちには墨の代わりに拭い取りの良い弁柄(ベンガラ)を使用する。朱色の弁柄の入った墨壺を朱壺という。

墨壺の材は、昔は柔の木が多く使われていたが、今では主に櫻が用いられている。実際に安価で壊れにくい合成樹脂製のものが一般的となってしまった。カラカラと糸車を巻き上げる手巻の墨壺から、自動で糸を巻きあげるものへと

変化し、旧来の手彫りの墨壺は姿を消しつつある。しかしここに来て工芸的に価値が評価され、観賞用や生け花用として手元に置かれる方が増えてきている。大工道具の中でも、形の面白さ、装飾性に貴重があり眺めるだけでも面白いものである。



夢を叶えた私たちの家

新築 立川市A邸

老後も安心して暮らせる住居を…！

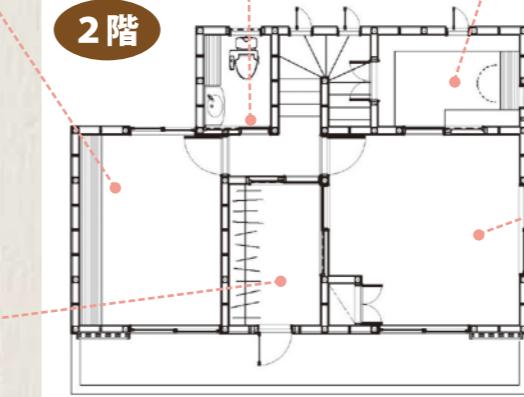
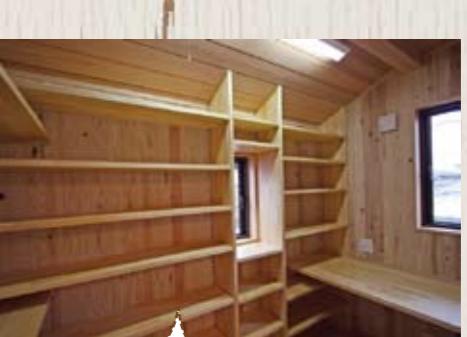
ゆったりとくつろげる居間とそれぞれのプライベートスペースも…

あえて廊下を作らず、できるだけリビングを広くとりました。そのままウッドデッキへも出られるので、お孫さんがいらしても、のびのび遊べます

ご主人の大好きなレコードと大型スピーカーが納められた予備室



A様ご夫妻はリタイアされた後の生活を送るために、お住まいの建て替えを計画されました。お二人それぞれの趣味のこと、時々遊びにいらっしゃるお孫さんたちのこと、将来に亘って安心して暮らすことなど… 時間をかけて夢を実現されました。お引越しして半年が経ち、お庭の植え込みもすっかり馴染んで、A様ご夫妻も建物も活き活きと輝いています。



1階

お客様の声

建売住宅2戸を僅か80cmの渡り廊下でつなないだ使いづらい家を解体して、大きくなくてもいいから老後も安心して暮らせる家を、が私たちの夢でした。住宅展示会などへも足を運びましたが、守屋工務店で建てた友人のお家を見てすっかり気に入り、それが決めるきっかけとなりました。巣立って行った二人の息子の家族が遊びに来ても、ゆったりとくつろげるような居間と食堂の空間を考えました。今年の夏は猛暑でしたが、天井が高く、風の通りもいいので、クーラーをつけっぱなしということはなかったです。厨房をはじめ、トイレ、書斎、洋室など私たちの注文や相談に誠実に丁寧に対応していただきました。有難うございました。この快適な終の棲家を根城に、女房は卓球がさらに強くなりたいという願望を持って、私は、劇団で演劇を追求という新しい挑戦へ向かって生きていくう思います。





私の健康法

熱血教師
[会長]
守屋辰雄



健康は己の心の中にある

「運命は自ら招き 境遇は自ら造る」人の一生は運命と言うどうする事も出来ない力で決まった道筋を引き連れていくものではない。自らの力で切り開く事が出来る。境遇も、予め定められているものではない。自分の心の通りに境遇の方が変わっていく。断固として正しい道を歩み、喜びいさんで事に当たっていく事である。肉体は精神の象徴と言われ心も体も一体である。新鮮な空気を胸一杯に吸い、朝5時に起き事務所の掃除、都道の清掃30分。これが私の最高の健康法です。毎年誕生日に人間ドックを受ける事も欠かしていません。

友人との楽しいおしゃべり

バタバタする日々で、ジムやジョギングに費やす暇がないので、健康法といえるものは何もありません。ただ、ストレスを溜めないことで、友人と愚痴を言い合ったり、他愛のないおしゃべりで笑顔になることが一番の健康法かもしれません。



輝く女性の感性
[設計]
井上佐智子

毎朝のウォーキング

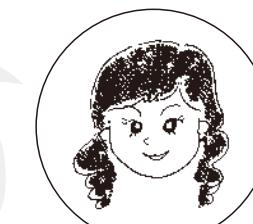
毎朝、近くの玉川上水沿いの遊歩道を30～40分、歩いています。5～6年前に体調が悪い日が続いて、なんとなく始めたのですが、朝の爽やかな空気の中を緑に囲まれて歩くのは本当に気持ちが良く、体も心も健康になるような気がします。これからは、紅葉の季節です。四季を感じられるのも、車で移動することの多い私には貴重な時間かもしれません。これからも、ずっと続けたいと思っています。

くよくよせず おいしいものを食べる

病は気からといわれるよう、気にかかることがあると、ついついくよくよてしまいがちですが、結果として起きましたことは、くよくよ考えずに前向きに考えようと意識しています。

最近体重が増えてきているので余り量は食べないように気を付けていますが、おいしいものを食べて、気分転換をはかりリフレッシュした気持ちで何事にも取り組むようにしていくことで健康にもつながると思います。

信頼度No.1
[社長]
守屋辰彦

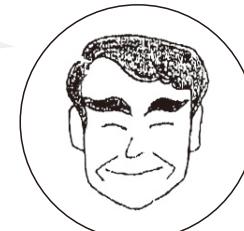


オールマイティママ
[経理]
守屋祥子



食事制限

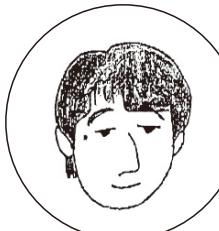
私の子供時代は、食に恵まれず、骨と皮ばかりのガリガリの容姿だった。結婚して一人前になると、昔のもったいない精神が働いて、テーブルに出される料理をことごとくたいらげる始末。お医者さんに頼る今は、食事制限が私の健康法。偶に食べ過ぎて、後悔の繰返し。



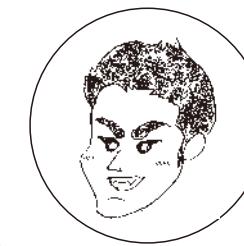
仕事の魔術師
[営業主任]
今井治彦

健康に良さそうな習慣

「健康法」は特に意識をしていないのですが…。食事を食べ過ぎないこと。朝ご飯をしっかり食べること。なるべく6時間ぐらい寝ること。お風呂でゆっくり湯船につかること。寝る前に柔軟体操をすること。外から帰ったときに、うがい手洗いをすること。などが、健康に良さそうな習慣なのでしょうか？ 他には、「なんでもうまくいく！」という楽観的な気持でいることが健康にも良いのかもしれません。



設計の匠
[設計課長]
鈴木浩司



熱意とこだわりの仕事師
[大工・設計監理]
立花慶次

話題のロングブレス

守屋工務店に入社し早10年、体重は入社当時より10kg以上増えてしまいました。お腹まわりの贅肉が気になり、こんな体をどうにかしたいと、今話題のロングブレスという呼吸法をやってみる事にしました。上体を後に傾け、3秒かけて息を吸って、勢いよく7秒間吐き続ける事を繰り返すと、2分間やっただけで汗ビッショリになります。運動後のようにスッキリして、体調が良くなります。先日、腰を痛めてしまい、一時中断していますが、もう一度引き締まった体を取り戻すために頑張ってみようかなあ…。



住まいは家庭生活の基盤となる大切な器です。
当社では住まいの役割を正しく理解するための「ホーミー教室」を開いております。
このコーナーで皆さんも一緒に住まいの本質を考えてみませんか？
そこで問題です!!

- (A) 精神病
(B) ガン、脳卒中、心臓病
(C) リューマチ、神経痛

A 正解は(B)です。

酸素は生命の根源であり、酸素不足と諸病の関係は言うまでもありませんが、特に(B)に関係があります。血液中の酸素は細胞の活動を助けていため、ガン細胞・脳細胞・心臓の働きに影響すると言われています。

人一人が一晩に睡眠中に必要な空気(酸素)の量は、およそ8帖一部屋分(およそ30m²)です。毎日窓を大きく開いて、新鮮な空気を取り入れましょう。最近、省エネルギーのため気密住宅がもてはやされていますが、自然の恵みを効果的にとり入れができる住まいでのエアコンなどに頼らない生活をすることが、健康にも省エネにもつながります。